

**加古川の未来を素敵に
 12月例会を開催！**

◆ ◆ ◆

2月17日に「加古川 未来シテイ構想」と題して、2月例会をリモート開催しました。今年度1年間を通して、加古川市の職員、東播磨県民局の職員、兵庫大学の学生の方々など、加古川のより良いまちづくりについて研究し、委員会では、JR加古川駅を中心としたまちづくりの構想に取り組みうと考え、様々な議論をしました。

この活動を通じて、委員会や産官学の皆様からのご意見を集約し、未来の加古川シテイ構想を展開図に表し、青年部メンバーとディスカッションする場を設けさせていただきました。自動運転バスを使ったチンチン電車構想や、加古川河川敷広場での商業施設の展望、日岡山公園のスポーツ施設の充実化など、様々な意見がありました。青年部の中でも、自分の住むまちのこと、生まれ育ったまちのことを大切に想い、より良いまちにな

るように考えられたアイデアが沢山あり、今後の加古川のまちの変化に夢と期待を抱くことができる、良い機会となりました。

(政策提言委員長 宮永 敏英)



地域の方々に数々のご協力をいただきました

笑顔と涙溢れた卒業式

◆ ◆ ◆
 13月例会卒業式を開催！

3月10日、3月例会「愛と感謝の卒業式」飛び立て5151のアニキたち」を開催し、昭和51年度生まれの11名の先輩方が青年部を卒業しました。私自身、今回で卒業生を見送るのは5回目ですが、毎回慣れないというかどこか寂しい気持ちになります。

この数年新型コロナウイルスに振り回され続け、今回の卒業式もまん延防止期間の延長により当初の予定から大幅に変更を余儀なくされました。お酒好きな方が多い年代だっ

たので、本当はもっと飲んで騒いで賑やかに送り出したかったのですが、そこは心残りですが、コロナ禍の制限が多い状況の中で参加者が70名を超えたのは、先輩方が現役メンバーとどのように過ごしてきたかを物語っているように思えました。

花束贈呈時には卒業生との思い出を涙ながらに語る人、笑いに換える人と様々でしたが、個人的には大好きな時間です。あの場での卒業生からの言葉を聞いて青年部って熱くていいな、もつとがんばってみようかな、そう思ってくれる人が増えたらいいなと思います。



卒業生(最前列)を囲んで記念撮影

最後になりますが卒業生の皆様、個性的で酒癖が悪くて、でも青年部が大好きでいてくれてありがとうございます！

(拡大交流委員長 杉浦 元記)